

## Greeting

An old saying goes like this...

“Time passes quickly when you are having fun.”

Can you believe that it has been 30 years since we began our search to find a better way to treat our precious patients?

Little did we realize that while creating and learning a new orthodontic technique for treatment, we inadvertently discovered that our EFFORTS produced more stable RESULTS on most of our patient's than any other known technique. It is through this discovery that we continue to provide the highest quality of treatment for our patients.

Another saying goes like this...

“On to the Future”



昔からの言い習わしにあるように、楽しく過ごしている時には、時間はあっという間に過ぎてしまうものです。

私達の大切な患者さん達を治療する上で、より良い方法を見つけるために私達が模索を始めてから 30年になるなんて信じられますか？

矯正治療の新たな技術を創り出し、学んでいる時には、少しも気付きませんでした。私達の「努力」が、私達の大部分の患者さんにおいて、他のよく知られているテクニックよりも一層安定した「結果」を生み出しているということ、ある時ふと発見しました。つまり私達が患者さんに最も質の高い治療を継続して提供していることが分かったのです。

そして、今、私達が共有する言葉は、「将来に向かって これからもずっと」。

開催にあたって

アレキサンダー研究会(当初V S D研究会)は、1985年7月14日那須高原にて発足しました。発起人や発会当時の会員、そしてその後に入会した会員達に支えられ、おかげさまで2014年をもって、30周年を迎えます。これを祝してアレキサンダー研究会30周年記念大会を開催する運びとなりました。

30年前、アレキサンダーディシプリンに魅了され、そのテクニックを習得、さらに磨きをかけようという意気込みで発足した研究会。その後、究極の目標として“Long-term stability” (長期安定性) を掲げ、研鑽を続けてまいりました。そして30年という長期にわたる年月、まさに“Long-term”の経過にともない、その目標が実証されてきています。

この30周年をアレキサンダー先生と共に歩んで来た研究会の大きな節目と考え、時代の変遷・世代の交代等の中で 過去を振り返り、未来の方向性について考える機会にしていきたいという主旨をメインテーマとして大会を企画いたしました。

プログラムについては、アレキサンダーディシプリンのエッセンスを凝縮して「おさらい」できるように アレキサンダー先生にはディシプリンを通して30年間で見てきたことについて20の原則を交えて講演していただく予定です。初めてアレキサンダー先生の話をお聴かれる方も、何回も聴かれている方も、久しぶりに聴かれる方も、それぞれの立場でご満足いただけるのではないのでしょうか。さらに現在の矯正界における問題点、これからの矯正界への期待などをアレキサンダー先生に語っていただきます。そして、日本におけるアレキサンダー研究会としては、シンポジウム「長期安定化に向けて30年で学んだこと」を行います。また、「大症例展示」と称して、過去においてアレキサンダー先生によりグレーディングされた症例やまたその後の経過など、動的治療終了後の観察期間の年数順に展示する予定です。なお、大症例展示会場は大会前日より開放し、症例見学、ミニセミナーや相談会など、ご自由に参加していただけるよう計画しております。

過去30年の間にアレキサンダーディシプリンを体験された先生方、これから体験してみようとお考えの先生方、是非、秋の椿山荘でお会いしましょう。ご参加お待ちしております。

アレキサンダー研究会世話人代表 神谷修治

30周年記念大会実行委員長 鮎瀬節子



## "Long-term stability" — 30年で学んだこと・次世代に伝えたいこと —

## プログラム


9月17日(水)

9:00 受付開始

9:30~9:45 オープニング

基調講演	9:45	<b>Dr. R.G. "Wick" Alexander</b> DDS, MSD	After 50 years of analyzing our patient cases, we discovered certain points of truth concerning orthodontic treatment goals and realistic results for our patients. By evaluating these results, we have brought forth certain truths that will influence their finished results and long term stability. On all cases that display stability, there are certain factors that are similar. But when the “factors” are not present, relapse tends to occur more frequently. By searching for these factors, then being sure they are engraved into the treatment mechanics, long term stability will more likely occur!
	12:30	“The Test of Time”	
12:30~14:00 昼食・症例見学 (昼食会場/プラザ4F・ジュビター)			
逐次通訳	14:00	<b>Dr. J. Moody Alexander</b> DDS, MS	We all have the privilege of creating beautiful smiles and making a difference in our patients' lives, but how can we use our orthodontic practices to change the world? Come be inspired by the stories of ordinary people who have made an extraordinary impact in our world.
	16:00	“Einstein, Nick and Emily: Giving, Leveraging and Changing the World”	
	16:30	<b>Drs. Wick and J. Moody Alexander</b>	In partnership with American Orthodontics, the Alexanders look forward to a fresh approach for the Alexander Discipline without compromise to the truths of the mechanics and our commitment to the excellence.
	18:00	“On to the Future”	
19:00~21:30 30周年記念レセプション (会場/プラザ4F・ジュビター)			

9月18日(木)

招待講演	9:00	<b>Dr. Song WEI</b> DDS, MSD (北京大学矯正歯科臨床教授)	
	9:30	“What I have learned from the Alexander Discipline are...”	
30周年記念 学術研究発表	9:30	<b>Dr. Johnny Joung-Lin, Liaw</b> DDS, MS (台湾矯正歯科学会会長)	ホテル椿山荘東京の夜景
	10:00	“Tough Cases Made Easy with the Alexander Discipline”	
30周年記念 学術研究発表	10:00	<b>小川晴也先生</b> (広島県・福山市)	” 歯科矯正治療後の長期安定性についての研究”
	10:30	” 歯科矯正治療後の長期安定性についての研究”	
10:30~13:00 記念撮影(椿山荘庭園) 30周年記念セレモニー・総会、昼食(会場/プラザ4F・ジュビター)			
シンポジウム	13:00	<b>モデレーター 加藤博重先生</b> (東京都・目黒区)	” 長期安定性に向けて30年で学んだこと” アレキサンダー・ディシプリンを基に質の高い治療を学んできました。さらに、長期安定 (LTS) という大きく重要なテーマで今回シンポジウムをすることになりました。多くの課題に取り組むために時間的な要素を考慮し、3つのパート(1: 動的治療後2~5年、2: 5~10年、3: 10年以上)に分けて学んできたことを皆で話し合うよう企画しました。
	17:00	<b>パネリスト</b> パート1 村松元朗 (千葉県・香取市) 中澤桂一郎 (群馬県・沼田市) パート2 今村美穂 (山梨県・甲府市) 高橋知江子 (宮城県・延岡市) パート3 久島文和 (大阪府・大阪市) 佐藤 英彦 (福岡県・福岡市)	

## 30周年記念展示

9月16日(火) 18:00~22:00, 17日(水) 9:00~24:00, 18日(木) 9:00~17:00

<b>グレーディングと対象症例展示 &amp; “みに せみなあ”</b>	<b>A先生のグレーディング開始は9月16日(火) 13:00~</b> 見学自由 7つのカテゴリーに分類された症例を提出し、アレキサンダー先生の評価を受けることができる毎年恒例の最も大切な時間です。見学は自由ですので奮ってご参加ください。 “みに せみなあ” は各方面で活躍中の当研究会が誇る優秀な先生と、気楽な雰囲気の中で、日々の臨床やマネージメントなどについて語り合おうという企画です。
<b>大症例展示</b>	アレキサンダー法が初めて日本に紹介されて35年、当研究会が設立して30年。アレキサンダー先生が目指す“Long-term stability”を達成した数多くの症例をご覧ください。Debonding後、最低2年以上、そして最長の長期安定症例は...
<b>学術研究発表</b> (ポスター展示)	<b>” 歯科矯正治療後の長期安定性についての研究”</b> 研究会会員と学術研究班(浅井保彦、小川晴也、黒田康子、佐藤英彦、高木伸治、堀内敦彦、正木史洋) 良好なプロファイルと咬合が10年以上維持されている約200症例を対象としてセファロならびに模型分析を行い調査した結果、長期安定のために必要なくつかのことがらが見えてきました。研究会30年のプライドをかけて行う過去最大級の特別企画です。その結果をあますことなくお見せするとともに矯正歯科界に発信いたします!